

ポスターセッション 11月8日(土)16:40～18:10

在籍責任時間 奇数番号 16:40～17:25

偶数番号 17:25～18:10

No	筆頭発表者	発表タイトル
1	大塚 紫乃	メディアとしての絵本から広がる遊び —保育者養成校での授業実践—
2	松崎 真実	オーストラリアの保育園における音楽教育 2園の音楽のアウトリーチ活動の実践と課題
3	青山 翔	幼保小の架け橋プログラムの成果と課題 —モデル地域「山口県」の取り組みを通して—
4	松本 圭朗	逆境を経験した子どもが学校外で形成する「話す能力」の検討 —日本語ラップを事例に—
5	服部 弘	保育園におけるドキュメンテーションの効果
6	長谷部 せり	幼小接続における実践の工夫と成果 —教師間での子どもの姿の共有と対話を重視して—
7	森越 美香	野菜・果物絵本での「Storytime(読み合い遊び)」による親子の変化 —5回参加後の面接から—
8	廣瀬 弥咲	子どもの豊かな関わりを育む異年齢保育の実践
9	堀 祥子	商店街×親子協働による共創の実践研究 1 —予期せぬ出来事で地域を耕す—
10	東山 幸恵	商店街×親子協働による共創の実践研究 2 —開かれた地域での食育の可能性—
11	水野 友有	商店街×親子協働による共創の実践研究 3 —子どもが耕す人と人のつながり—
12	吉田 恵史郎	アクアリウムの STEAM 教育に対する有効性 —生き物を使った保育の実践—
13	深町 澄子	インド タミル・ナードゥ州チェンナイの小学校における「外遊び」の提案と活動の実践
14	田中 卓也	大正自由教育と子ども雑誌の盛衰 —『おとぎの世界』『童話』を中心に—
15	大江 まゆ子	夜間保育ニーズ 0 地域の夜間保育状況 —ベビーホテル運営者へのインタビュー調査から—
16	丸山 ちはや	近代秋田市における保育と女性支援活動の展開 ～廃娯運動から託児所設立へ～
17	矢後 淳子	マッカーサー・ベイツ CDI 日本語短縮版の開発 —現代に即した評価法を探る—

No	筆頭発表者	発表タイトル
18	瀬川 千裕	今井誉次郎の児童文学にみる子ども
19	菊川 弥夢	Te Whāriki の改訂をめぐるニュージーランドの多文化共生の模索
20	李 月	令和 6 年法改正に伴う家庭支援加算 I の影響分析 — 3 事業所における家庭支援の現状 —
21	森谷 路子	パラアスリートによる体育指導が運動に苦手意識を持つ子どもたちに及ぼす影響について
22	池田 朋	保護者の視点から見た演劇鑑賞が病児・障害児にもたらす効果と課題に関する一考察
23	角谷 詩織	小・中学校の教員は児童生徒のどのような特性をギフティッドと関連づけるか
24	新家 智子	母語が日本語ではない子どもへの支援について(2) ベトナムルーツの親子支援について
25	岩井 祐一	知的障害児の視点取得に関する実態 —「たつじんテスト」を用いた事例検討—
26	杜 伊凡	保育と療育における遊び観と実践の比較 —中国の保育者と療法士による質問紙調査—
27	増田 実菜	かじがらを活用した触覚体験の発達の差異 — 幼児・大学生・視覚障害児の新奇場面比較 —
28	安藤 寿康	縄文土器製作能力の伝達様式の検討 —馬高式火焰型土器と勝坂式橢円区画文土器の比較—
29	柿沼 美紀	顔の表現から読み解く社会的認知発達 その 1 土偶の顔採点法による軌跡
30	平中 尚子	顔の表現から読み解く社会的認知発達 その 2 —幼児と ASD 児の粘土表現—
31	眞榮城 和美	幼児期における園での遊び体験と心理的ウェルビーイングに関する縦断的検討
32	西元 直美	幼児期の情動コンピテンスと気質に関する縦断的検討
33	野津 喬	不登校生徒のレジリエンスを高める支援とは(第1報) —文献レビューから—
34	野津 喬	不登校生徒のレジリエンスを高める支援とは(第2報) —生徒のインタビューから—
35	西本 瞳	高校生における「親ガチャ」感の研究(2) —遺伝・家庭環境・本人の努力の影響認知—
36	田附 俊一	幼稚園児の非認知能力と認知能力 —鬼ごっこの加速度標準偏差と集中力テストを対象に—

No	筆頭発表者	発表タイトル
37	上田 清花	子どもが助けたいくなるのはどんな物？ —擬人化した物と子どもの援助行動の質の関連—
38	寺岡 良子	入学前に不登校経験を持つ青年の大学への適応 —青年・母親への面接調査から—
39	平井 美幸	小・中学校における保護者との関わりの課題 —就学前からの縦断的な保護者支援の検討—
40	酒井 厚	就学前後を通じた向社会的行動と問題行動の発達の軌跡： 3 歳から 7 歳までの縦断的検討
41	岡田 眞奈	家庭の経済状況の違いから捉える子どもの対人関係や活動の 個人差と自己肯定感との関連
42	菅原 ますみ	乳幼児期の子育てと両親の小児期体験との関連 —リスクとレジリエンスの統合的検討—
43	高岡 純子	0 歳 6 か月から 9 歳の子どもを持つ親のデジタルメディア使用と 親子のかかわり
44	後藤 郁子	幼児対象「デジタル科学教室」から見えたこと —子どもと親・保育者との対話を通して—
45	森本 ひのき	集団読み聞かせにおける AI 音声による他児の発話が与える影響 について
46	伊東 みゆき	幼児教育におけるデジタルメディア活用の実態 オンライン交流時の言葉の表出に着目して
47	武田 悠衣	英語ビデオ教材を用いた母子の笑顔の共創 —知育玩具および母子間のインタラクション—
48	百瀬 ユカリ	子育て支援センターでのコミュニケーションロボット導入の 試み
49	油川 さゆり	小学校低学年の学業成績と ICT 経験の交互作用がプログラミング的 思考に与える影響
50	渡邊 宣明	今日における幼児の脳活動の発達 —N幼稚園における2年間の調査から—
51	村上 博文	DX・GX 時代における幼児の生活と課題 —N幼稚園における質問紙調査より—
52	片平 朋世	保育者養成校における「昔話」の指導法の検討 — 学生の意識調査アンケートをもとに —
53	曾野 麻紀	保育学生が感じる体験授業の難しさについて —屋外での実践振り返りを通して—
54	戸次 佳子	保育を学ぶ学生の実習前後の対児感情および保育者効力感の 変化

No	筆頭発表者	発表タイトル
55	森永 純子	幼児期の好奇心・探究心の育ち① —園長による2つの概念の捉えと育み方に着目して—
56	辻谷 真知子	幼児期の好奇心・探究心の育ち② —園長インタビューでの「時間」の語りに着目して—
57	梅本 菜央	保育者の勤務継続意志におけるソーシャルスキルの役割 —ソーシャルサポートを媒介に—
58	上田 敏丈	園内研修の中で構築される子どもの遊びの物語
59	仲本 美央	絵本環境コーディネーター研修プログラム第1版の開発研究Ⅱ 研修前後の意識・行動変容
60	宇津木 七実	養成校における「表現する力」の育成への提案 —科目間連携の可能性—
61	金 瑛珠	子どもたちの育ちを支える保育者たちの日常 —“同僚性”の形成過程に着目して—
62	上原 たつえ	「総合的な食育活動」の効果 —乳幼児期の食育の実践および保護者調査の報告—
63	孫 怡	母親の食育意識と幼児の食事行動および育児ストレスとの関連
64	山本 里美	乳幼児の音環境と音感受性の成長・発達 —音多様性の時代に「耳を澄ます」ということ—
65	鈴木 康二	‘触る’ + ‘対話’ が紡ぐ「言葉」研究に向けて —「お気に入り」探しの博物館体験—
66	田村 綾菜	保育所の食事場面における食事の経過に伴う1歳前後児の食事行為の違いに関する研究
67	和田 紫織	食物誤嚥に対する保育士・保育教諭の事故予防への行動と認識との関係
68	本吉 好	青森県の就学前施設に通園する幼児の運動実施状況に関する調査
69	小林 美由紀	集団生活開始前の子どもの健康相談の意義 —子育て総合支援センターでの検討から—
70	世良 喜子	看護系大学生によるからだを基軸とした健康教育の10年間の実践
71	社会福祉法人 あづみの森 尾道発達相談・療育支援センターあづみ園	発達障害児へのスクール・スキル・トレーニング —児童発達支援での取り組みから—
72	NPO 法人家庭的保育支援協会	東京から沖縄へお泊り保育—子どもたちのウェルビーイングとレジリエンス力を育む行事—